

第 27 回日本救急医学会九州地方会

プログラム

令和5年 5月 13日 (土)

- 教育講演
- シンポジウム 1～2
- 特別企画
- ランチョンセミナー 1～3
- SMAQ 企画
- 一般演題 (口演) 1～12

5月13日(土)

第1会場 エルガーラホール 7F 中ホール

8:50~9:00 開会式

9:00~9:36 一般演題(口演) 1 重症・集中治療

座長：高橋 毅 (国立病院機構熊本医療センター 院長)
喜納 大貴 (熊本赤十字病院救命救急センター)

- O-01** 低カリウム血症から心停止を来し VA-ECMO で救命しえた1例
新山 修平 (鹿児島大学病院 救命救急センター)
- O-02** 緊張性血胸を伴った小児重症肺挫傷に対して VV-ECMO を導入し救命し得た一例
河野 淳 (九州大学病院 救命救急センター)
- O-03** 重症胸部外傷にて緊急開胸手術を施行し救命し得た1例
宮本 淳平 (新行橋病院)
- O-04** 気管切開チューブ入れ替え時に緊張性気胸を生じた1例
友田 貴博 (済生会福岡総合病院 救命救急センター)

9:50~10:40 教育講演

座長：松浦 弘 (済生会福岡総合病院 院長)

- EL** 総合診療と救急の連携
清田 雅智 (飯塚病院 総合診療科)

10:50~12:20 シンポジウム 1

医師業務のタスクシフト・タスクシェアー現在進行形と次世代を見据えてー

座長：高須 修 (久留米大学医学部救急医学講座)

大嶋 由紀 (済生会福岡総合病院看護部)

- S1-1** 医師業務のタスクシフトにおける特定行為・診療看護師の活用ー総論、そして当院の現状
宮脇 宏 (小倉記念病院麻酔科・集中治療部)
- S1-2** 地方二次救急医療機関における診療看護師の活動と存在意義
田口 健蔵 (社会医療法人陽明会 小波瀬病院 救急科)
- S1-3** 救命救急センターに所属する診療看護師の活動～シームレス Cure・Care を目指して～
岸良 達也 (鹿児島大学病院 救命救急センター)

S1-4 医師業務のタスクシフト・タスクシェアー特定行為・診療看護師の活用ー

橋本 麻里衣 (国立病院機構熊本医療センター 看護部)

12:30~13:30 ランチョンセミナー 1

(共催：アレクシオンファーマ合同会社)

座長：前原 潤一 (済生会熊本病院 救急科)

LS1 敗血症性 DIC に潜む非典型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) の早期診断と治療

落合 秀信 (宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野)

13:40~14:00 総会

14:00~15:40 シンポジウム 2

人為的集団災害へ備えるー火災・爆発などによる特殊災害に、いかに対処するかー

座長：山下 典雄 (久留米大学病院高度救命救急センター)

四島 弘 (福岡市消防局)

S2-1 京都で経験した熱傷多数傷病者事案での活動と課題

高階 謙一郎 (京都第一赤十字病院 救命救急センター)

S2-2 銃撃・爆発などの特殊災害に対する備え

- 事案発生から病院受け入れまでの基礎知識と体制整備 -

成田 麻衣子 (りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター)

S2-3 多数熱傷患者への備え

清住 哲郎 (防衛医科大学校病院 救急部 救命救急センター)

15:50~16:50 特別企画 重症患者家族対応と臓器移植問題

座長：喜多村 泰輔 (福岡大学病院救命救急センター)

SP-1 重症患者の家族サポートに関する考え方

ー厚生労働科学研究の紹介と実際の患者対応ー

田崎 修 (長崎大学病院高度救命救急センター)

SP-2 医療者として“患者の最期のこえを聞く”ことに真摯に向き合う

三山 麻弓 (済生会福岡総合病院 看護部)

SP-3 臓器提供の現状について

岩田 誠司 (公益財団法人 福岡県メディカルセンター)

(後援：日本臓器移植ネットワーク)

16:50~17:00 閉会式

5月13日(土)

第2会場 エルガーラホール 7F 多目的ホール

9:00～9:45 一般演題(口演) 2 初期診断

座長：吉原 秀明 (鹿児島市立病院救命救急センター)

古川 祐太朗 (佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター)

- 0-05** 救急外来の意識障害精査で AIDS の診断に至った一例
中山 佳奈 (社会医療法人仁愛会浦添総合病院)
- 0-06** 自覚症状のない低酸素血症のため肺血栓塞栓症を見逃した一例
黒木 勇人 (福岡赤十字病院 救急科)
- 0-07** 職業歴から治療介入が早期に行えた黄疸出血性レプトスピラ症(ワイル病)の1例
岩永 千尋 (鹿児島大学病院)
- 0-08** 神経症状を伴う腰痛で来院し、後日脊髄梗塞の診断に至った一例
有田 雄紀 (飯塚病院 救急科)
- 0-09** 診断が遅れた後天性血友病 A の 1 例
江本 央 (国立病院機構九州医療センター 臨床教育研修センター)

9:50～10:35 一般演題(口演) 3 看護

座長：増山 純二 (令和健康科学大学看護学部看護学科)

桑田 睦子 (九州大学病院救命救急センター)

- 0-10** 初療室における在宅支援への取り組み
高田 久美 (福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター初療室)
- 0-11** 特定行為修了者によるタスクシフトの実現 ～ PICC 挿入開始後に見えてきた変化と課題～
小川 奈奈 (社会医療法人 陽明会 小波瀬病院)
- 0-12** 多職種カンファレンスを通じた連携の強化
田中 悟司 (済生会福岡総合病院 救命救急センター)
- 0-13** PICS 予防に対する意識調査～ ICU ダイアリーの共有から見えてきたもの～
富塚 絵理 (社会医療法人 陽明会 小波瀬病院)
- 0-14** 救急クリニック看護師はベトナムで非常に重宝される
館野 義房 (医療法人 EMS 松岡救急クリニック)

10:40~11:25 一般演題(口演) 4 内因性疾患・その他

座長：野田 英一郎 (九州医療センター救命救急センター)

田中 拓道 (熊本大学病院救急部)

- O-15** 多発性脳梗塞の原因として可逆性脳血管攣縮症候群が疑われた1例
新山 修平 (鹿児島大学病院 救命救急センター)
- O-16** 外傷を契機に先天性シャントの血行動態の変化をきたし、十二指腸静脈瘤破裂に至った一例
東雲 崇之 (宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター)
- O-17** DKAにNOMIを合併した2症例
中原 知之 (長崎医療センター)
- O-18** 馬尾症候群による神経因性膀胱を背景に膀胱自然穿孔を起こした一例
吉澤 菜々 (熊本赤十字病院)
- O-19** 感染症のスクリーニング検査が臓器提供の日程に影響を与えた1例
村橋 志門 (長崎大学病院)

11:30~12:15 一般演題(口演) 5 内因性疾患

座長：梅村 武寛 (琉球大学救急医学講座)

村橋 志門 (長崎大学病院高度救命救急センター)

- O-20** 問診が重要であった若年性心筋梗塞の1例
大田 有穂 (福岡赤十字病院 救急科)
- O-21** 当院に搬送されたミルクアルカリ症候群についての検討
堀 遙 (国立病院機構九州医療センター 救命救急センター)
- O-22** コルヒチンが奏効したと思われる家族性地中海熱発作の一例
川上 侑希子 (霧島市立医師会医療センター)
- O-23** 急速進行性の呼吸不全と心停止を来した椎骨動脈解離の一例
福本 綾香 (熊本赤十字病院 救急科)
- O-24** 出血性ショック治療中に低Mg血症より多形性心室頻拍を来したが救命しえた1例
新山 修平 (鹿児島大学病院 救命救急センター)

12:30~13:30 ランチョンセミナー 2

(共催：旭化成ファーマ株式会社)

座長：友尻 茂樹 (日本赤十字社 福岡赤十字病院 救急科)

- LS2** 敗血症性DIC—診断と治療のポイント—
櫻井 聖大 (国立病院機構熊本医療センター 救命救急・集中治療部)

14:00～14:27 一般演題(口演) 6 RRS

座長：前谷 和秀 (済生会福岡総合病院救命救急センター)

- O-25** 救急科新設と院内迅速対応システム (RRS) 開始の検討
鍋田 祐介 (北九州市立医療センター 救急科)
- O-26** 当院の RRS 導入における経過と検討事項—起動後の経過記録から見えた次なる課題—
北代 崇礼 (社会福祉法人恩賜財団済生会福岡県済生会福岡総合病院)
- O-27** 当院の Rapid Response System の現状
前原 伸一郎 (公立学校共済組合 九州中央病院)

14:40～15:07 一般演題(口演) 7 教育

座長：末永 司 (済生会福岡総合病院看護部)

- O-28** A 病院におけるドクターカーナース搭乗基準の検討と今後の課題
穴井 順也 (社会医療法人 陽明会 小波瀬病院)
- O-29** 病棟急変の特性を生かした急変対応シミュレーション教育の研修設計
苑田 裕樹 (令和健康科学大学)
- O-30** 救急外来リーダー看護師の調整能力向上にむけた取り組み～CSCA を活用した患者管理トレーニングを実施して～
土屋 一子 (沖縄赤十字病院)

15:20～16:05 一般演題(口演) 8 外因性疾患・その他

座長：赤星 朋比古 (九州大学病院救命救急センター)

吉澤 菜々 (熊本赤十字病院救急科)

- O-31** 頸椎から腰椎に生じた広範囲脊椎硬膜外膿瘍の 1 例
勝村 万実 (福岡大学病院)
- O-32** 当科で経験した多発脳膿瘍を伴うレミエール症候群の一例
戸村 祐理子 (宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター)
- O-33** アルカリ洗剤服用により生じた喉頭浮腫、腐食性食道炎に対して人工呼吸器管理により良好に治療しえた 1 例
覚本 雅也 (いまきいれ総合病院)
- O-34** 皮下に漏出したフルスルチアミン製剤により皮膚壊死をきたし、植皮を要した一症例
出口 優 (長崎大学病院 医療教育開発センター)
- O-35** 幼少時の囲炉裏による頭部熱傷後に生じた癩痕癌 3 例の治療経験
森岡 康祐 (鹿児島市立病院 形成外科)

16:10~16:46 一般演題(口演) 9 異物・中毒

座長：垣花 泰之 (鹿児島大学病院救急・集中治療部)

島津 志帆子 (宮崎県立延岡病院救命救急センター)

- O-36** McGRATH[®]を用いた気管挿管の盲点？
改田 祐紀 (済生会福岡総合病院)
- O-37** フリーダイビング後に発症した浸漬性肺水腫の1例
藤田 泰裕 (飯塚病院)
- O-38** ドライアイス貯蔵倉庫におけるCO₂中毒の1例
小山 敬 (地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 救急科)
- O-39** オムツの異食後に緊急摘出術を施行せず自然排泄が得られた成人の一例
釣井 採香 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

5月13日(土)

第3会場 エルガーラホール 7F 会議室 1

9:10~9:55

一般演題(口演) 10 システム・人材

座長：玉井 文洋 (大分三愛メディカルセンター救急科)

久保 佳祐 (都城市郡医師会病院救急科)

- O-40** 院内における脳死下臓器移植シミュレーションの取り組みと、移植医療を経験して
内田 雄三 (独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター)
- O-41** COVID-19 禍での ER における急性期脳梗塞治療の時間短縮を目指して
原田 なつみ (社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院)
- O-42** 働き方改革を見据えた研修医教育ならびに時間外勤務の現状と課題
藤田 尚宏 (佐賀県医療センター好生館 総合教育研修センター)
- O-43** 地域救命救急センターを存続させるための戦略
中村 健太郎 (鹿児島県立大島病院 救命救急センター)
- O-44** オール鹿児島による若手救急医人材確保の取り組み
渋谷 謙一 (鹿児島大学病院 救命救急センター)

10:10~11:04

一般演題(口演) 11 地域医療

座長：岩村 高志 (佐賀県医療センター好生館救命救急センター)

内田 雄三 (長崎医療センター高度救命救急センター)

- O-45** 新型コロナウイルス感染症第8波で行った医師会臨時発熱外来の効果
久木田 一郎 (青仁会池田病院)
- O-46** 飯塚地区における高齢者施設からの救急搬送の現状と課題
中村 篤雄 (飯塚市立病院 救急部)
- O-47** 奄美群島の急性大動脈解離症例を救命するために必要な医療連携体制 ～離島からの提言～
平田 悠哉 (鹿児島赤十字病院 総合診療科)
- O-48** 南西諸島エリアににおける航空医療の現状・課題・展望
米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)
- O-49** 重症患者における高圧酸素療法の実際 第二種装置の有用性について
森口 弘太郎 (県立大島病院 臨床研修センター)
- O-50** 日本とベトナムをつなぐ画像診断システム
松岡 良典 (松岡救急クリニック)

11:20～12:14 一般演題(口演) 12 プレホスピタル

座長：柳瀬 豪 (済生会福岡総合病院救命救急センター)
毛利 耕輔 (佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター)

- O-51** 高血糖症例の割合から考察する血糖測定の有用性と心停止前輸液の適応について
笠木 俊秀 (大分市消防局)
- O-52** 救急救命士を対象とした末梢静脈路確保の成功率
鵜澤 佑 (宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科 病態解析医学講座救急・災害医学分野)
- O-53** 救急救命士を対象とした末梢静脈路確保の成否因子
鵜澤 佑 (宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科 病態解析医学講座救急・災害医学分野)
- O-54** 八重山諸島での令和4年に発生した水難事故による CPA 症例の検討
竹島 茂人 (沖縄県立八重山病院)
- O-55** 福岡県ドクターヘリで搬送した分娩後出血症例における安全性の検討
金苗 幹典 (久留米大学病院 高度救命救急センター)
- O-56** 複数消防と連携した多数傷病者事案・ドクターカー連携訓練を企画して
三戸 正人 (ハートライフ病院)

12:30～13:30 ランチョンセミナー 3

(共催：アストラゼネカ株式会社)

座長：石倉 宏恭 (福岡大学医学部救命救急医学講座)

- LS3** 抗凝固薬に伴う頭蓋内出血の治療 ―オンデキサの使用経験を含めて―
山城 重雄 (済生会熊本病院 脳卒中センター 脳神経外科)

14:00～16:00 SMAQ 企画

救急医療の最初のステップ～救急の手技を学ぼう！～

担当：学生・研修医部会 (SMAQ) 九州・沖縄ブロック

ブロック長：平田 悠哉

副ブロック長：大石 佳奈、河原 朋花